



こえ
みんなの声がみやぎのミライをつくる
こどもわけもんモニター

れいわ ねん ど だい かい
令和6年度第2回
せいさく
「こどもわけもん政策モニター」
けっか ほうこくしょ
アンケート結果報告書

みやぎけん せいさくか
宮崎県こども政策課

こどもわけもん政策モニターについて(第2回)

1

ちょうさもくてき

調査目的

ほんけん けいかく さくてい こそだ せさく とうじしゃ たち こえ はんえい みしゅうがくじ こうこうせい たいしょう
本県のこども計画の策定にあたって、子育て施策の当事者であるこども達の声を反映させるため、未就学児から高校生を対象とした「こどもわけもん政策モニター」から意見を聞きました。

たち いけん き みやざきけん けいかく そあん ばん みしゅうがくじ しょうがくせいむ ちゅうがくせい こうこうせい
なお、こども達から意見を聞くにあたっては、「宮崎県こども計画(素案)やさしい版」を、未就学児・小学生向けと、中学生・高校生向けに作成しました。

ちょうさきかん

調査期間

れいわ ねん がつ にち か がつ にち きん
令和6年12月10日(火)~12月20日(金)

ちょうさほうほう

調査方法

かいとう
WEB(フォーム)による回答

かいとうすう かいとうりつ

回答数・回答率

第2回アンケート回答率			
年齢区分	モニター数	回答者数	回答率
合計(ごうけい)	663名	458名	69.1%
未就学児(みしゅうがくじ)	189名	133名	70.4%
小学生(しょうがくせい)	167名	125名	74.9%
中学生(ちゅうがくせい)	144名	93名	64.6%
高校生(こうこうせい)	163名	107名	65.6%

○意見聴取の内容・反映について

けいかく めいしょう

1 計画の名称について

たち いけん さんこう けつてい
 子ども達からの意見を参考に決定しました。⇒ 3ページ

きほんりねん

2 基本理念について

たち いけん さんこう そあん しゅうせい
 子ども達からの意見を参考に素案から修正しました。⇒ 3ページ

いけんちょうしゅ ほうほう

3 意見聴取の方法について

こんご たち いけん き さんこう
 今後子ども達から意見を聞くにあたっての参考にさせていただきます。⇒ 4ページ

けいかく ないよう

4 計画の内容について

けいかく はんえい けんとう いか せいり
 計画に反映できるかどうかを検討し、以下のとおり整理しました。⇒ 5～12ページ

たち
 子ども達から
 いただいた意見



に いけん
 似ている意見
 をまとめる



- 計画に反映する意見 ⇒ どこに記載したかを書きました
- 計画に既に記載している意見 ⇒ どこに記載しているかを書きました
- 修文には結びつかなかったが参考にさせていただいた意見
 ⇒ 考え方を書きました

※ このほか、個別具体的な意見等、子ども計画への反映が難しかった意見についても、関係する部署に共有し、今後の子ども・子育て施策を推進していく上での参考とさせていただきます。

1 計画の名称について

子ども達の意見を参考に、「宮崎県子ども未来応援プラン」に決定しました。

計画名(候補)	回答数
宮崎県子ども計画	70
宮崎県子どもまんなか計画	111
宮崎県子ども未来応援プラン	226
その他(自由記述)	51

※ 「宮崎県子ども計画」、「宮崎県子どもまんなか計画」、「宮崎県子ども未来応援プラン」、「その他自由記述」で回答を募集しました。

※ その他(自由記述)では、「応援」や「未来」、「ひなた」、「みんな」等の言葉を使った名前が多くみられました。

2 基本理念について ※中学生・高校生の皆さんに聞きました

子ども達の意見を参考に、素案から修正しました。

○素案(修正前):すべての子ども・若者の夢や希望が叶い、幸せの輪が広がる宮崎づくり

○最終(修正後):すべての子ども・若者の夢や希望を応援し、幸せの輪が広がる宮崎づくり

※ 素案で掲げた「夢や希望が叶い」という点について、実現されることに期待している声も多く上がる一方で、実現が可能なかと不安の声があった。また、実現できるとして、夢をかなえるためのサポートや悩み事に対する支援を求める声が多く上がったことから、これらの意見を参考に「叶う」を「子ども達の夢や希望を応援する」表現に修正します。

3 意見聴取の方法について ※中学生・高校生の皆さんに聞きました

今後子ども達から意見を聞くにあたっての参考にさせていただきます。

選択肢 ※複数回答可	回答数
みんなが思っていることをアンケートに書いて伝えてもらう	83
みんなの学校や施設に大人が行って話を聞く	62
子ども達の代表が集まって意見をまとめ大人に伝える	77
県のホームページや学校、施設に子ども達が誰でも意見を言えるような仕組みをつくる	100
その他(自由記述)	8

※ 「みんなが思っていることをアンケートに書いて伝えてもらう」、「みんなの学校や施設に大人が行って話をきく」、「子ども達の代表が集まって意見をまとめ大人に伝える」、「県のホームページや学校、施設に子ども達が誰でも意見を言えるような仕組みをつくる」、「その他(自由記述)」で回答を募集しました。

※ 複数の意見可のため、合計は回答者数と合致しません。

4 計画の内容について

5

みなさんからいただいたご意見を項目ごとにみると以下のとおりです。

意見項目 ※やさしい版に記載している項目で整理	おも ないよう 主な内容	未就学児 (みしゅうがくじ)	小学生 (しょうがくせい)	中学生 (ちゅうがくせい)	高校生 (こうこうせい)	合計 (ごうけい)
① みんなのためにずっと応援していくこと	こどもの意見・権利擁護	2	1	20	13	36
(すべての年齢の子ども・若者のための取組)	イベント・体験・遊び場等	33	37	15	15	100
	虐待・こどもの安全等	5	13	3	2	23
② 小学校に入る前のみんなが元気で安心してすごすことができるように	医療、保育士	3	1	0	0	4
応援すること(誕生日前から6才くらいまでの時期に大切にしていこう取組)						
③ 学校でがんばるみんなを応援していくこと	学校関係、こどもの居場所等	13	27	9	9	58
(6～18才くらいの時期に大切にしていこう取組)						
④ みんなが大人になっても	地域の魅力、結婚	0	0	0	11	11
(18才からの時期に大切にしていこう取組)						
⑤ みんなのお父さんやお母さんのために応援すること	経済的負担軽減、子育て支援等	11	6	1	9	27
	仕事と生活の両立支援、	6	4	0	0	10
	働き方改革	1	0	0	0	1
⑥ 計画の見せ方	子育てについての気運の醸成	4	3	4	2	13
	計画の周知方法等					
その他		11	18	6	2	37
意見なし		65	40	38	49	192
計		154	150	96	112	512

※ 『宮崎県子ども計画(素案)やさしい版(未就学児・小学生向け)(中学生・高校生向け)』の資料をお見せしてご意見をいただきました。

※ 複数の意見可のため、合計は回答者数と合致しません。

① みんなのためにずっと応援していくこと(すべての年齢の子ども・若者のための取組)

みなさんの意見(主なもの)

子どもの意見・権利擁護について

- 子どもの意見反映の取組を進めてほしい
- 学校でアンケートをとるなど意見を聞いてほしい
- インターネットなどを活用して意見を書き込める環境をつくってほしい
- 他の人がどういった意見を言ったのか知りたい
- 直接大人が子どもに話を聞いてほしい
- 代表者の意見だけでなく、たくさんの子ども達から意見を聞いてほしい
- 意見を出せる場をもっと増やしてほしい
- 子どもを中心に大事にしてほしい

イベントや体験について

- いろいろなイベントや体験ができる機会を増やしてほしい
- 図書館でもっとたくさん本を読みたい

施設・遊び場について

- 子どもや家族が遊べる場所や公園を増やしてほしい
- 男性トイレにおむつ交換台があるとよい

書いてある場所・県の方等

○ 子どもの権利に関する普及啓発や、子ども・若者の意見を効果的な施策に生かしていきます。(30P)
また、基本的視点の一つに、子ども・若者の視点に立った施策の展開を掲げており、子どもまんなか社会の実現に向けて、いただきたい意見も参考にしながら取り組んでいきます。

○ 遊びや体験活動の推進や、「読書県みやぎき」づくりに取り組んでいきます。(31P)

○ 子どもや子育て当事者の視点に立った公園づくりや、授乳室・おむつ替えスペースを提供する「赤ちゃんの駅」の設置を推進します。(32P)



いけん おも
みなさんの意見(主なもの)

かつやく きかい
こどもが活躍できる機会づくりについて

- こどもの可能性が広がる政策をお願いしたい
- 留学の支援をしてほしい
- 外国人のこども達も支援してほしい
- こども達にも性教育が必要
- 性の多様性に配慮し、自分自身の性に悩むことがない社会づくりが必要

きょういく
インクルーシブ教育について

- 支援クラスに通うが、たくさんの友達と勉強や遊べるようにしてほしい

じどうぎゃくたい
児童虐待について

- 児童虐待について周りが気付く取組や、学べる取組をしてほしい

しゃかいてきようご
社会的養護について

- 里親普及を進めてほしい
- 施設で暮らすこどもたちの心のケアも視野に入れてほしい

あんぜんかくほ がっこうふく
こどもの安全確保(学校含む)について

- 学校のトイレや遊具等の施設・設備を新しくしてほしい
- 通学路の交通安全対策についても計画に盛り込んでほしい
- 防犯面の対策もしてほしい
- スマホを安全に安心して使えるようにしてほしい

か ばしよ けん かんが かなたなど
書いてある場所・県の考え方等

- 海外留学制度の充実などグローバル人材の育成や、外国人のこどもへの教育の支援など、こども・若者が活躍できる機会づくりに向けた取組のほか、性に関する教育についても取り組んでいきます。(33~35P)
- 多様な性への理解促進に向けた取組について、ご意見を参考に追加して記載しました。(33P)

- 通級による指導を中心に多様な学びの場の整備・充実を図るなど、インクルーシブ教育システムの実現に向け、取り組んでいきます。(38P)

- 市町村や警察などと連携しながら、児童虐待の未然防止や早期発見につなげるとともに、児童相談所虐待対応ダイヤル「189」を周知するなど、意識啓発の取り組んでいきます。(39P)

- 里親制度の普及啓発を行うとともに、こどもに最適な里親への委託を進めます。(40P)
- 施設での生活における悩みや不満などの意見が言える仕組みづくりに取り組んでいきます。

- 学校施設の老朽化(長寿命化)対策や通学路の交通安全対策、防犯講話など学校等における安全教育の推進、こどもが安心してインターネットを利用できる取組を推進します。(43、44P)

② 小学校に入る前のみんなが元気で安心してすごすことができるように応援すること

(誕生日前から6才くらいまでの時期に大切にしていける取組)

みなさんの意見(主なもの)

医療について

- 予約対応のみの小児科が多く急な発熱で受診ができない。
- スムーズに予約がとれて通える病院がほしい。

保育士について

- 保育士が足りていないので、給料アップや処遇を改善してほしい

書いてある場所・県の考え方等

- 安心して子どもを育てることができる環境づくりを進めるため、小児医療体制の整備や、小児科医の確保等に取り組んでいきます。(45P)

- 保育人材の確保を図るため、保育士支援センターの体制強化や、更なる処遇改善について国への働きかけを行います。(47P)

③ 学校でがんばるみんなを応援していくこと(6~18才くらいの時期に大切にしていく取組)

みなさんの意見(主なもの)

学校(学び・先生等)について

- ほかの学校の子どもとも触れあえる環境があると良い
- 勉強に集中できる環境を整備してほしい
- 先生と話す機会を増やすなど、相談しやすい環境をつくってほしい
- 学校をもっと楽しい場所にしてほしい
- 教員の質を向上してほしい

子どもの居場所について

- 放課後児童クラブを拡充してほしい
- 学校が終わってからみんなで集まれる場所がほしい

金融や職業教育について

- お金の勉強をする機会があると良い
- いろいろなお仕事を体験できる機会があると良い

いじめ、不登校について

- いじめをなくしてほしい
- 不登校になった子どもを支援してほしい
- 悩みを相談できるカウンセラーを配置してほしい

書いてある場所・県の考え方等

9

○ 子どもが安心して過ごし学ぶことができる質の高い教育を推進します。(48P)
また、学校教育については様々な意見をいただいたところですが、この「宮崎県子ども未来応援プラン」とは別に、教育の推進を図るための計画「みやざきけんきょういくしんこうきほんけいかく(宮崎県教育振興基本計画)」がありますので、同計画に沿って取組を進めていきます。

○ 待機児童の解消に向けた放課後児童対策の取組強化や、新たな居場所づくりのサポートに取り組んでいきます。(49P)

○ お金や物の価値など、自立した消費者として成長するための消費者教育や金融経済教育、職業教育を推進します。(50P)

○ いじめ防止対策の強化や県教育支援センター「コネクト」での不登校の子どもへの支援のほか、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門スタッフの配置の拡充に取り組んでいきます。(51P)

④ ^{おとな} ^{さい} ^{じき} ^{たいせつ} ^{とりくみ} みんなが大人になっても(18才からの時期に大切にしてい^く取組)

^{いけん} ^{おも} みんなさんの意見(主なもの)

^か ^{ばしょ} ^{けん} ^{かんが} ^{かた}など 書いてある場所・県の考え方等

^{みりよく} ^{ちいき} 魅力ある地域づくりについて

^{こうつうきかん} ^{はたら} ^{ばしょ} ^{じゆうじつ} ^{わかもの} ^{かえ} ^{おも}
 交通機関や働く場所を充実させるなど、若者が帰ってきたいと思える
^{みやざきけん}
 宮崎県にしてほしい

^{みりよく} ^{こよう} ^{そうしゆつ} ^{さら} ^{そくしん} ^{わかもの} ^{みやざき} ^き
 魅力ある雇用の創出やUIJターンの更なる促進など、若者が宮崎で希
^{ぼう} ^{えが} ^{みりよく} ^{ちいき} ^{とく}
 望のライフプランを描くことができるよう、魅力ある地域づくりに取組
 んでいきます。(53P、54P)



^{であ} ^{けっこん} 出逢い・結婚について

^{であ} ^{けっこん} ^{もと} ^{はいりよ} ^{とりくみ}
 出逢いや結婚を求めている人への配慮もされた取組にしてほしい

^{けっこん} ^{にんしん} ^{しゆっさん} ^{こそだ} ^{こじん} ^{じゆう} ^{いしけつてい} ^{もと}
 結婚、妊娠・出産、子育ては個人の自由な意思決定に基づくものであつ
^{たよう} ^{かちかん} ^{かんが} ^{かた} ^{そんちよう}
 て、これらについての多様な価値観・考え方が尊重されるべきであること
^{だいぜんてい} ^{うえ} ^{しょうしかたいさく} ^{とく}
 は大前提の上で、少子化対策に取り組んでいきます。

⑤ みんなのお父さんやお母さんのために応援すること(子育てをする人のための取組)

みなさんの意見(主なもの)

けいざいてきふたん けいげん

経済的負担の軽減について

- 保育料を無償化してほしい
- 給食費を無償化してほしい
- 公立と私立で補助に差があるのでこどもは平等にしてほしい
- 通学にかかる交通費を支援してほしい
- 大学の無償化や奨学金制度を拡充してほしい
- 住んでいる場所で子育て支援に差が生じないようにしてほしい

こそだ しえん

子育て支援について

- 子育てについて相談できる施設がほしい
- ママを助けてくれるサービスが増えてほしい
- 親が子育てに自信を持てるよう親育てが必要
- 延長保育の充実について計画に盛り込んでほしい

こそだ じょうほうはっしん

子育ての情報発信について

- イベント情報や子育て支援情報がまとまって分かるようにしてほしい

書いてある場所・県の考え方等

- 幼児教育・保育料の更なる負担軽減や、高校生の授業料等の負担軽減、奨学金返還支援金など、経済的負担軽減に取り組んでいきます。(56P)
- 国においては、高等教育費の負担軽減や高校無償化について検討が進められており、住んでいる場所で子育て支援サービスに差が生じないよう、全国一律での実施を国に求めています。

- 子育ての相談支援体制やファミリー・サポート・センターの推進、親としての役割やこどもの関わり方を学ぶ「みやざき家庭教育サポートプログラム」等に取り組んでいきます。(57、58P)
- 延長保育については、ご意見を参考に追加して記載しました。(57P)

- 子育て支援にかかる必要な情報や支援が届くよう、子育て支援情報の発信に取り組んでいきます。(60P)

いけん おも
みなさんの意見(主なもの)

だんせい かじ いくじさんか

男性の家事・育児参加について

- いくじ ちちおや ふ せさく と く
○ 育児ができる父親を増やす施策に取り組んでほしい

しごと せいかつ りょうりつしえん はたら かた かいかく

仕事と生活の両立支援、働き方改革について

- かぞく いっしょ す じかん ふ
○ 家族で一緒に過ごす時間を増やしてほしい
- ゆうきゅうきゅうか べつ びょうき とき しごと やす
○ 有給休暇とは別に、子どもが病気の時に仕事を休めるようにしてほしい
- たんじかんきんむせいでん しょうがっこうそつぎょう しゅとく
○ 短時間勤務制度を小学校卒業まで取得できるようにしてほしい

こそだ おうえん きうんじょうせい

子育てを応援する気運醸成について

- けんぜんたい たち みまも そだ ふんいき
○ 県全体で子ども達を見守り育てていける雰囲気をつくってほしい

けいかく み かた
⑥ 計画の見せ方について

- わ 分かりやすいパンフレットや冊子を作成してほしい
- がっこう じゆぎょうなど とりくみ わ きかい ふ しゅうち
○ 学校の授業等で取組が分かる機会を増やすなど周知してほしい
- むずか いちぶん みじか
○ 子どもには難しいので一文を短くしてほしい

か ばしょ けん かんが かつなど

書いてある場所・県の考え方等

12

- かじ いくじ かん む かいさい だんせい かじ いく
○ 家事・育児に関するパパ向けワークショップの開催など、男性の家事・育
児への参画促進に取り組んでいきます。(61P)

- しごと せいかつ りょうりつしえん はたら かんきょう む とりくみ すい
○ 仕事と生活の両立支援など、働きやすい職場づくりに向けた取組を推
進します。(62P)
- くに おいては、「子の看護休暇制度」の対象年齢や取得事由の拡大を予
定しているほか、育児期を通じた柔軟な働き方の推進が図られており、企
業等への周知・広報を進めていきます。

- 「ひなたの出会い・子育て応援運動」の展開など、子育てに温かい社会
づくり・気運の醸成に取り組んでいきます。(63P)

- こんご たち たいしょう ばん さくせい よてい
○ 今後、子ども達を対象とした「やさしい版」の作成を予定しています。
- でまえこうざなど かつよう みやざきけん みらいおうえん しゅう
また、出前講座等を活用するなど、「宮崎県子ども未来応援プラン」の周
知に取り組んでいきます。